

4/23
東日

介護保険料負担 初の10万円超え

19年度 会社員の健保組合

主に大企業の社員らが入る健康保険組合の2019年度予算で、平均介護保険料率は1・573%（前年度比0・055%増）、加入者1人あたりの年間介護保険料は平均10万912円（同約6千円増）になった。保険料率と保険料はずれも過去最高で、初めて10万円を超えた。団塊の世代が75歳以上になり始める22年度には2・0%、13万4823円になる見通し。

健康保険組合連合会（健保連）が22日に公表した。

組合が引き下げる。

ただ、厚生労働省所管の「社会保険診療報酬支払基金」からの誤ったデータをもとに保険料を算出したた

め、今年度分の保険料は本

来より1人あたり2千円程度低く算定されている。健

保組合は予備費での対応や来年度の保険料への上乗せなどを検討している。

健保連は、公的医療保険についても正式に発表した。平均保険料率が12年連續で上がり、過去最高の9

- 218%（同0・011^{△増}）、1人あたりの年間保険料は49万5732円（同9401円増）。

（西村圭史）